

循環器医療・研究のスペシャリストを育成する、 国立高度専門医療研究センター(NC)の責務

日本の循環器医療を牽引するNCとして、
若手医療者・研究者の教育に注力しています。

人材育成のための多様な機会を準備しています

国循の医師研修制度には、初期研修を修了した医師を対象に幅広く知識や技術を身につけることを目的としたレジデント制度と、専門分野を極めることを目的とした専門修練医制度があります。2000人を超えるレジデント・専門修練医修了者は国内外で活躍しています。

看護師の研修では、ジェネラリストだけでなく、専門分野を極めたスペシャリストや教育者を育成するシステムが整っています。ナショナルセンター初の特定行為研修や国循独自の専門看護師(CVEN)制度は看護の質の向上につながっています。

若手研究者の育成制度として、リサーチフェローがあります。国循の研究所では病態研究だけでなくペプチド探索やデバイス開発なども行っているため、医学研究者だけでなく異分野の研究者も広く受け入れています。国循だからこそできる病院との連携なども通じて、若手研究者も多くの成果を挙げています。



日本の循環器医療の 発展を担う若手医師の 育成を目指します

初期研修修了以降の医師を対象としたレジデントの研修期間は原則として3年で、研修を希望する部門で実施している診療を全体的に経験します。後期研修修了以降の医師を対象とした専門修練医の研修期間は原則として2年で、専門分野に特化した研修を行います。さらに、若手医師の研修制度の変更に対応するため、2018年度より従来よりも短い期間での研修も可能となりました。

国循では先進的な治療を実施するだけでなく新たな治療法の開発につながる臨床研究も盛んに行われています。レジデント・専門修練医を筆頭著者とする論文も数多く発表されています。また、連携大学院で学位を取得することも可能です。



看護師特定行為研修を 開講し、高度実践者を 育成します

2019年度よりナショナルセンター初の指定研修機関として8区分21特定行為研修を開講。循環器領域の高度先端医療を担う特定機能病院の特徴を活かし「重症集中管理コース」と名づけました。重症かつ集中的な治療を必要とする患者さんに対して、医療チームの中で役割発揮ができるよう、経験豊富な専門医および専門性を持つ多職種が協働した教育プログラム・教育体制を整備しています。特に、併設したトレーニングセンターにおいて高度実践的な教育を通して、高い臨床推論力と病態判断力に基づいた実践力を養います。さらに透明性と高い倫理性に基づいた質の高い医療に貢献することを目指しています。



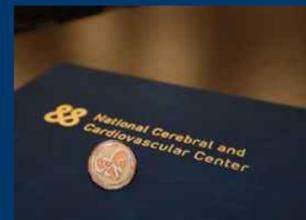
循環器疾患の制圧に 向けて若い力を 発揮できます

研究所では、リサーチフェローとして研究活動に専念することができます。その内容は従来の基礎・臨床医学の範囲に留まらず、ゲノム医学、ペプチド・タンパク質医学、生理機能解析、分子イメージング、再生医学、人工臓器開発、創薬、診断法開発など多岐にわたり、画期的な成果や特許を生み出しています。研究所と病院をつなぐ部門としてオープンイノベーションセンター(OIC)が新たに開設され、先進的な臨床研究やトランスレーショナル研究だけでなく、産業界との連携をより一層推進する拠点として活動していきます。



レジデントアワード、 ティーチングアワード

国循では、レジデント・専門修練医を対象とし「レジデント・アワード」を実施しています。これは臨床研修において知識・手技・経験・医師として必要な基本姿勢と態度など、達成しなければならない目標を確認するためのものです。また指導・教育を行うスタッフを対象とした「ティーチング・アワード」も実施しています。



国立循環器病研究センター 専門看護師(CVEN)制度

CVENとは国循の専門看護師です。循環器領域の看護分野において、看護の質の向上を図るため、各領域の教育研修を修了し、熟練した知識や技術を持つ水準の高い看護実践者を育成しています。心臓・血管、脳血管など5つのコースがあり、看護実践におけるモデル的な存在になっています。



連携大学院制度

研究機関と大学院が連携・協力して学生の指導を行い、学生の資質向上を図り、相互の研究交流を促進することによって、学術および科学技術の発展に寄与することを目的とする制度です。国循では、連携大学院制度に基づいて、大学と協定を結び、大学院生に研究指導を行っています。



ダイバーシティ

ダイバーシティ人材育成支援室は、多様性に富んだ個人の能力を最大限に活かせる職場作りを目的に設立されました。どんな方でもライフイベントに対応しつつ働き続けることができるような支援体制を整え、業務に専念して取り組める環境作りを目指しています。



宿舎

国循に隣接して、単身用と世帯用の居室がある職員専用宿舎「ディアクレスト国循健都」ができました。通勤に非常に便利で、またJR岸辺駅にも近いので大阪市内へのアクセスも抜群です。国循にはこのディアクレストも含め職員専用宿舎が6つあります。看護師専用の宿舎もあり、遠方の出身の若手看護師も安心して勤務することができます。



保育所

職員専用宿舎に隣接して、職員専用の「おひさま保育所」があります。生後57日からの未就学児が入所可能です。看護師など交代制勤務が必要な職員に配慮し、22時までの延長保育(月曜日)と夜間保育(火曜日)も受け付けます。一時預りの制度もあり、月極契約をしていない職員が必要な時に使用することもできます(要事前登録)。